

「モチベーション3.0」出版記念特別対談 ～ 人材の「やる気！」をいかに引き出すか～

大前 研一、ダニエルピンク



実学習時間

1h

難易度

★★★★★

受講料

¥5,500

税込

学習目標と狙い

同僚や部下をはじめとしたやる気を喚起するために必要となるモチベーション3.0の考え方を伺うことで、コミュニケーションやチームマネジメントの参考にします

学習プログラム

PDU

1

【概要】

本番組では、1995年から1997年まで当時のアル・ゴア副大統領の首席スピーチライターを務め、フリーエージェントとして、ワシントン・ポストなどの記事や論文を執筆しているダニエル・ピンク氏をゲストに迎え、人材のやる気を喚起するために必要となるモチベーション3.0の考え方を伺います。

モチベーションはこの3段階に大別されます。モチベーション1.0は生物としての基本的欲求に対するもの。2.0はアメとムチによるもの。3.0は知的興奮など高い次元での意味付けを持たせるもの。

人材をやる気にさせるためには、Autonomy（自律性）、Mastery（熟達）、Purpose（目的）の三つのポイントが重要になります。課題（task）、時間（time）、手法（technique）、チーム（team）といった仕事の4側面で、自律性が尊重される仕組みが要求されます。米国を中心に世界最大の家電量販店を運営するBest Buy社では、働く時間に関係なく、生み出した成果によって報酬を得る結果重視の職場環境（ROWE）を整備し、結果、作業効率が大幅に向上し、社員のモチベーションが上がりました。ダニエル・ピンク氏著書『モチベーション3.0（原題DRIVE）』も合わせてぜひ参照ください。



受講期間	講義	理解度テスト	演習	チャメール	修了証	修了アンケート	制作年
6ヶ月	1回(平均60分)	なし	なし	あり	あり	なし	2010

10803